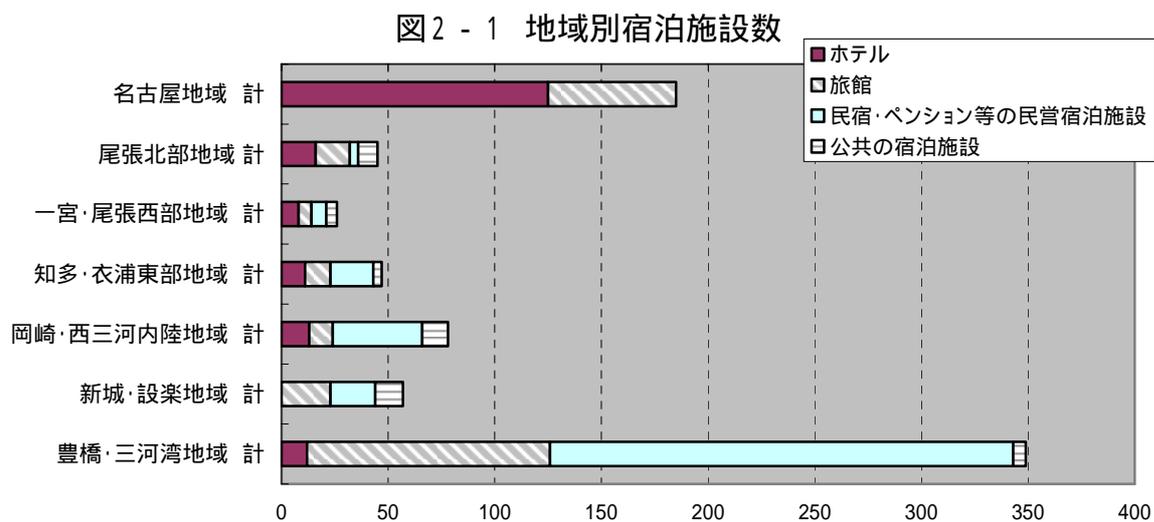


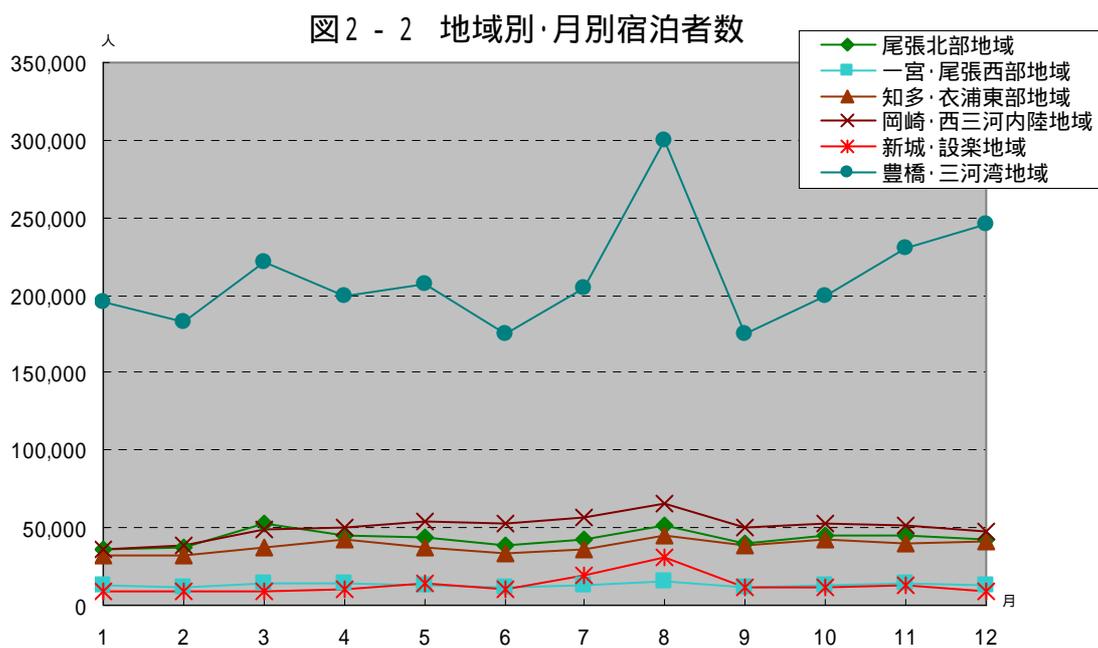
第3 宿泊者統計

1 地域別宿泊施設数及び地域別・月別宿泊者数

報告のあった宿泊施設は787施設あり、地域別では豊橋・三河湾地域が最も多く、次いで名古屋地域となっている。(図2-1)

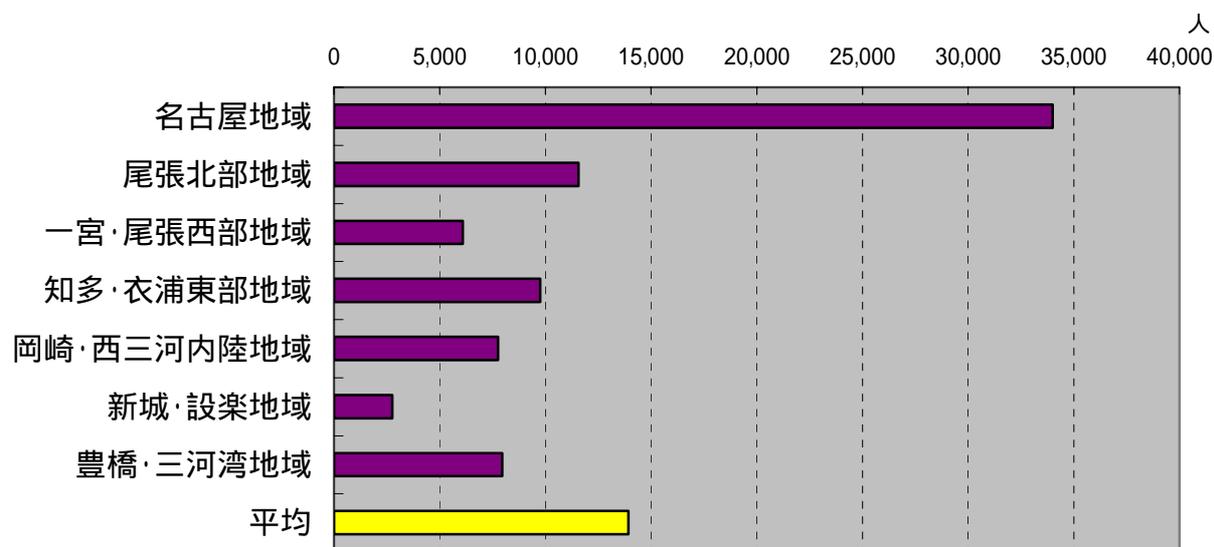


月別宿泊者数を見ると、豊橋・三河湾地域では、他の地域に比べて、月による宿泊者数の変動が大きい。その他の地域では、月による宿泊者数の変動は比較的少ない。(図2-2)



1 宿泊施設あたりの宿泊者数でみると、名古屋地域が他の地域の 2.5 倍以上となっている。これについて、当該地域は他の地域と比較して規模の大きな宿泊施設が多いこと、交通アクセスの良さを活かして県内外を移動する際の中継点にすることなどが要因であると考えられる。
(図 2 - 3)

図 2 - 3 宿泊施設 1 件あたりの宿泊者数



2 修学旅行等宿泊者

修学旅行等の宿泊先は、宿泊人員では、南知多町が最も多く、次いで、名古屋市、田原市の順となっている。(表3-1)

表3-1 市町村別宿泊者数

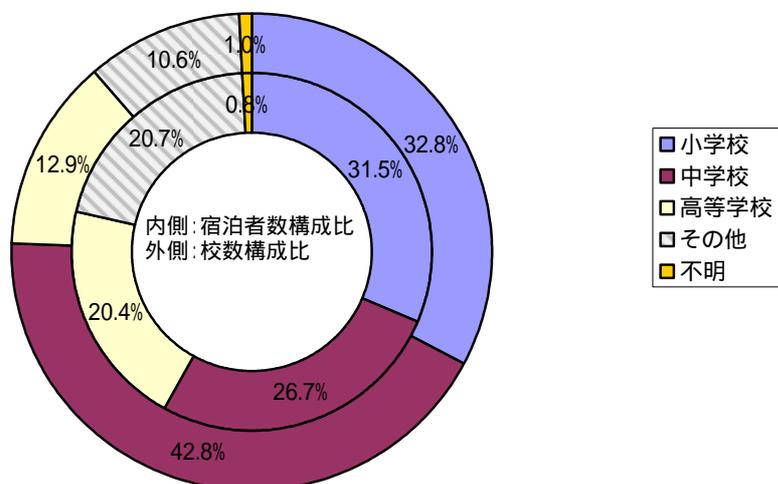
(単位：校、人)

	小学校		中学校		高等学校		その他		不明		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
名古屋市	26	1,464	6	371	16	1,028	25	3,106	0	0	73	5,969
犬山市	9	640	1	44	1	36	0	0	0	0	11	720
小牧市	2	37	8	117	6	107	0	0	0	0	16	261
蟹江町	8	403	0	0	0	0	0	0	0	0	8	403
東浦町	0	0	0	0	0	0	7	602	0	0	7	602
刈谷市	6	142	13	340	6	169	0	0	0	0	25	651
岡崎市	0	0	2	55	5	102	2	19	0	0	9	176
豊田市	8	213	3	68	11	446	3	190	0	0	25	917
美浜町	4	120	4	246	0	0	1	41	0	0	9	407
南知多町	102	4,542	166	3,184	2	33	0	0	0	0	270	7,759
一色町	1	16	12	811	1	24	11	423	1	56	26	1,330
吉良町	1	26	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26
幡豆町	0	0	1	69	12	1,909	0	0	0	0	13	1,978
蒲郡市	0	0	3	250	2	205	2	31	4	147	11	633
田原市	4	448	4	1,273	2	1,060	4	870	0	0	14	3,651
豊橋市	0	0	0	0	3	91	0	0	0	0	3	91
合計	171	8,051	223	6,828	67	5,210	55	5,282	5	203	521	25,574

名古屋市は平成18年4月から平成19年3月のデータ。

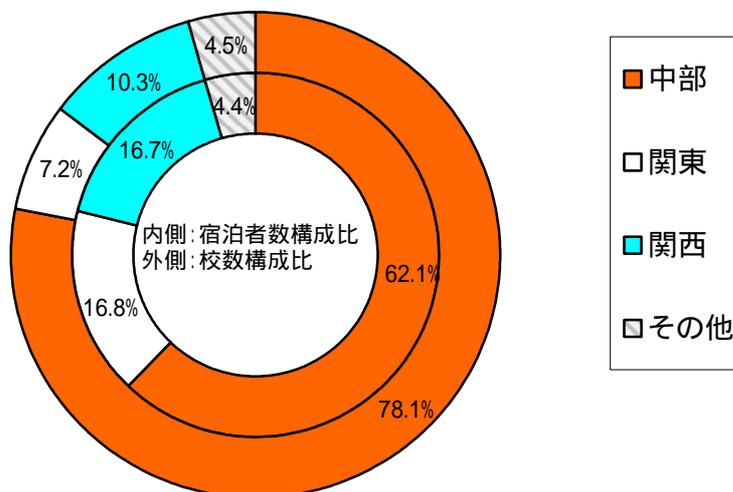
修学旅行等により本県を訪れた学校及び宿泊者において、校数構成比では中学校が最も多く、宿泊者数構成比では小学校が最も多くなっている。(図3-1)

図3-1 学校別宿泊者構成比



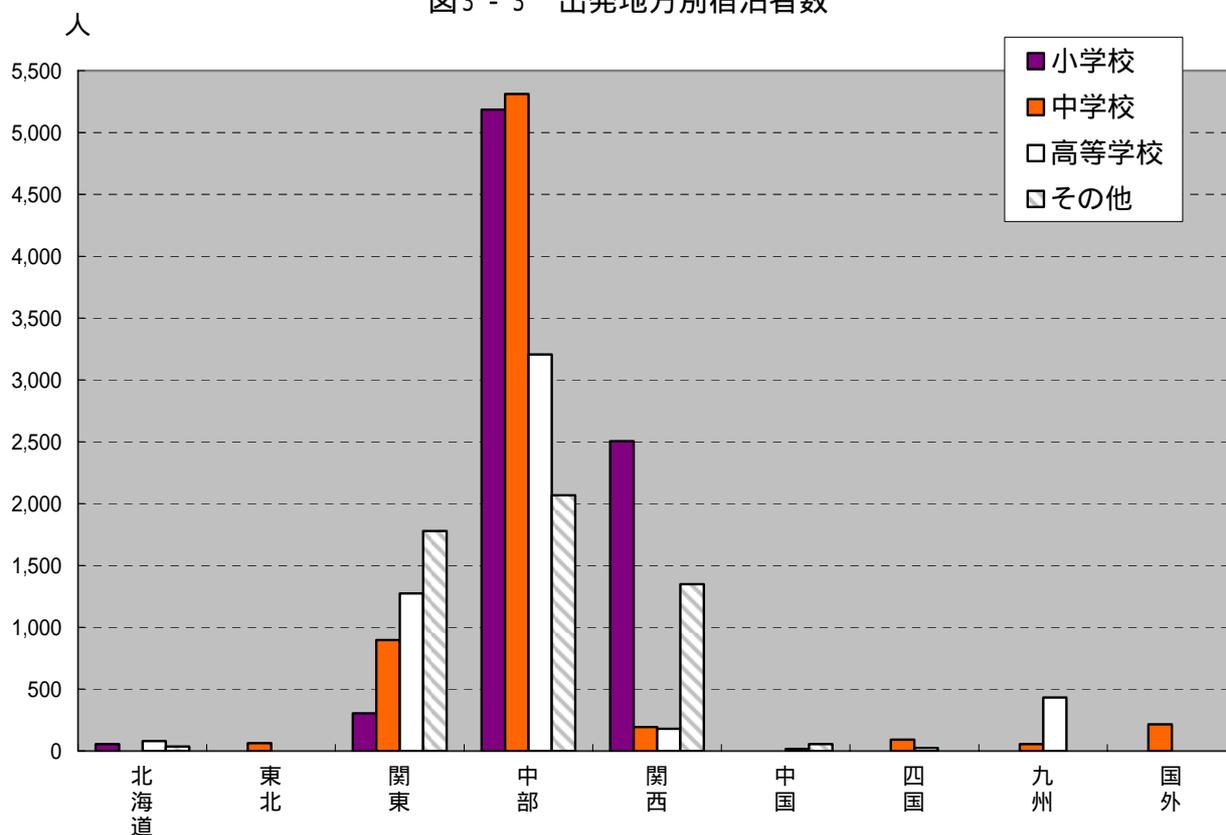
出発地域を見ると、校数構成比では中部地方（78.1%）が最も多く、次いで関西地方（10.3%）となっている。宿泊者数構成比では中部地方（62.1%）が最も多く、次いで関東地方と関西地方がほぼ同数比となっている。（図3 - 2）

図3 - 2 地方別修学旅行宿泊者構成比



小学校、中学校、高等学校等ともに、中部からの宿泊者（小学校 5,185 人、中学校 5,311 人、高等学校・その他 5,272 人）が最も多い。（図3 - 3）

図3 - 3 出発地方別宿泊者数



3 外国人宿泊者

回答のあった県内市町村の宿泊施設における外国人宿泊者は、名古屋地域が全体の約8割を占め、次いで豊橋・三河湾地域が多くなっている。(図4-1)

地域別では、アジアからの来訪者が全体の約7割を占めている。(図4-2)

図4-1 地域別外国人宿泊者数

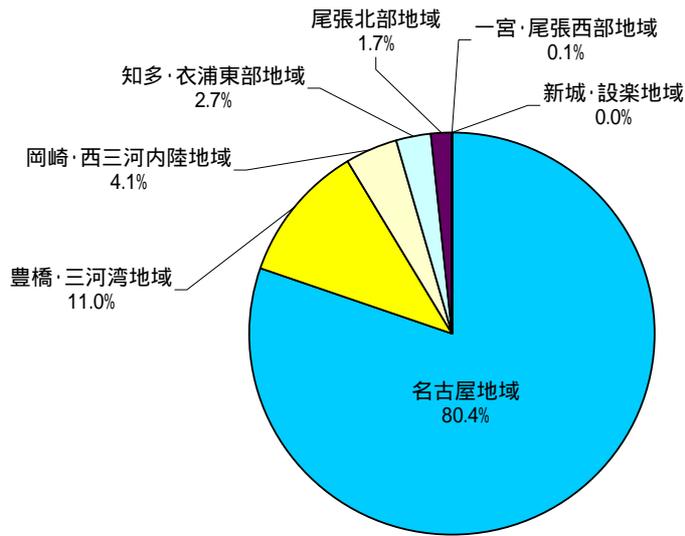


図4-2 外国人宿泊者地域別来訪割合

